

## GPA制度について

### 1. GPA導入の趣旨

学生は履修した科目の単位修得のみならず、優れた成績を目標とした学習に務めなければならない。このため、学習成果の正確な把握が必要となる。

成績評価は、シラバスにより各科目の授業概要、到達目標、日程、単位認定方法及び基準を明示した上で、本学の定める成績基準に基づきなされる。

これに加え、学生が主体的に学習し、学習成果を確認した上で履修計画を立てられるよう、対外的に通用する成績評価であるGPA制度を導入する。

### 2. GPAとは

GPAとはGrade Point Average、グレード・ポイント・アベレージの略称で、履修科目の成績平均値を意味する国際標準の値である。科目ごとの成績評価を5段階（秀、優、良、可、不可）で評価し、それぞれに対して4、3、2、1、0のGP（Grade Point）に換算し（表1）、成績平均値（GPA）を算出する。

表1：成績評価とGPの対応表

| 成績評価 | 点数       | Grade Point (GP) |
|------|----------|------------------|
| 秀    | 100点～90点 | 4                |
| 優    | 89点～80点  | 3                |
| 良    | 79点～70点  | 2                |
| 可    | 69点～60点  | 1                |
| 不可   | 59点以下    | 0                |

注：履修登録したものの途中で放棄、欠席した場合の不可もGPは0となる。

### 3. GPAの算出方法

各科目の成績評価をGPに換算し、このGPに科目ごとの単位数を掛けた値の合計を、履修登録した単位数の合計で割った値をGPAとする。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{GP} \times \text{単位数}) \text{の合計}}{\text{履修登録科目の単位数の合計}}$$

### 4. 学期GPAと累積GPA

成績表には、学期GPAと累積GPAが示される。学期GPAは当該学期のみのGPAを示し、累積GPAは、1年次前期からの成績を通算したGPAを示す。学期GPAと累積GPAとを比較検討することで、現在の自分の学びの伸びを確認することができる。

$$\text{学期GPA} = \frac{(\text{当該学期に評価を受けた履修登録科目のGP} \times \text{単位数}) \text{の合計}}{\text{当該学期の履修登録科目の単位数の合計}}$$

$$\text{累積GPA} = \frac{((\text{各学期に評価を受けた履修登録科目のGP} \times \text{単位数}) \text{の合計}) \text{の総和}}{(\text{各学期の履修登録科目の単位数の合計}) \text{の総和}}$$

### 5. GPA算出にあたっての注意点

- ① 表2に示す科目をGPA算出対象外科目とする。実習先評価による成績評価を行う「保育実習1（保育所）」、「保育実習1（施設）」、「保育実習2」、「保育実習3」と「教育実習（幼稚園）」はGPA算出の対象科目として扱わない。
- ② 他大学で履修した科目は、GPA算出の対象科目として扱わない。
- ③ 対象外科目を除き、履修登録が成立した科目はすべて算出対象となる。
- ④ 追試験・再試験と判定された科目は、追試験・再試験の結果の成績でGPに換算される。
- ⑤ 「不可」となった科目を後に再履修した場合、成績評価が「可」以上となっても、過去の成績評価である「不可」は算出対象となり累積GPAが算出される。

表2：GPA算出対象外科目の一覧

|            |
|------------|
| 保育実習1（保育所） |
| 保育実習1（施設）  |
| 保育実習2      |
| 保育実習3      |
| 教育実習（幼稚園）  |